

マレーシア工科大学主催の学長フォーラム 2014 に筑波大学が参加、合わせて学生交流協定の調印式も挙
行（2014年5月21-23日）

UNIVERSITI TEKNOLOGI MALAYSIA(UTM)-UNIVERSITY PRESIDENTS FORUM (UPF) 2014
(Prof. Ir. Dr. Wahid Bin Omar 副学長) がマレーシア工科大学 (UTM) ジョホールバル本校において
開催され、「知の創造と革新に向けた国際連携の在り方」をテーマに、15ヶ国・30大学の学長・副学
長・役員などが出席し、熱い議論が交わされました。筑波大学からは、白岩善博生命環境系長・マレー
シア筑波大学クアラルンプールオフィス代表が出席し、講演と筑波大学—マレーシア工科大学間の学生
交流協定調印式を行いました。フォーラムには、UTMの役員と部局長が多数出席し、マレーシア—日本
国際工科院 (MJIIT) のルビア院長もクアラルンプールから駆けつけ出席しました。参加大学は ASEAN
諸国を中心に、ペンシルバニア州立大学 (米国) やサウサンプトン大学 (英国) など多岐に渡りました。

筑波大学は、2013年12月にクアラルンプールオフィス (白岩善博代表、杉浦則夫副代表) を開設し、
MJIIT や UTM/ジョホールバル本校を中心に、藻類エネルギーや水管理を含む環境科学・環境工学や社
会工学分野を中心に、マレーシア各大学・機関との国際連携を研究と教育の両面で推進していく方針で
す。

会議の様子は Facebook で即時配信されています (<https://www.facebook.com/UTMInternational>)。



全参加大学代表による記念撮影 (2014.5.22)。中央が Wahid Bin Omar 副学長、
向かって右へ Michael Adewumi ペンシルバニア州立大学副学長、白岩善博生命環境系長。



High-Tea セレモニー後の記念撮影（2014.5.21）。前列中央が Azian Abdul Rahim 副学長補佐。



学生交流協定調印式と Wahid Bin Omar 副学長と白岩善博生命環境系長による記念品の交換

